

(様式1)

平成29年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 008	提案機関名 農業振興課
要望問題名 都市農業に対応したICTを活用した施設野菜(トマト)の栽培技術等の確立	
要望問題の内容 【背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等)】 本県におけるスマート農業の推進については、平成27年度から「スマート農業普及推進研究会」を設立して都市農業の現状にあったスマート農業のあるべき姿や技術について検討を進めており、平成30年度までには現場での普及推進に向けた体勢を整備する予定である。 については、トマトを対象として、次の課題について検討を要望する。 ・マーケット・インの考えに基づく有利販売が期待される、出荷時期や品質の検討。 ・上記に対応した養液栽培技術体系の確立及び導入すべき環境制御機器の検討。 ・普及の指標となる経営モデルの検討。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	企画経営部
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合)	ICTを活用した温室内環境制御技術の開発及び経営モデルの構築 トマト栽培における環境制御システムの現地実証・経営評価		
対応の内容等	平成28年度から上記試験研究課題に取り組んでおり、ICTを活用した施設トマト栽培の経営モデルを構築します。また、経営モデルの構築にあたっては、マーケット・インの考えに基づき、量販店など農産物を消費者に提供する実需者から生産への要望を収集し、有利販売が期待できる出荷時期や品質、最適なICT機器整備の条件等についても明らかにします。		
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			